



有松日本遺産について

- 有松日本遺産運営協議会 名古屋市関係部署及び有松各団体で構成されます。
有松日本遺産に関する最終決定機関
- 有松日本遺産実行委員会 有松各団体から推薦された委員等により構成されます。
事業等の推進を計る機関

事務局は有松・鳴海絞会館、事務局長は成田基雄氏（絞組合理事長）が就任されました。

- 第2回 日本遺産事業 調査研究会合（11月26日）

第2回目の打合せが、桜花学園根尾研究室で開催されました。

- ・ 会合の名称は「有史資料調査保存会」と決まりました。
- ・ 有松町史の編纂参考資料の入手を行います。
- ・ 会員が2名増え、総員8名となりました。
- ・ 収集資料は仮置き場として旧山田薬局に依頼しました。

名鉄有松キャンペーン実施される（10月1日～11月10日）

昨年に続き実施された名鉄の「有松キャンペーン」。今年は、「有松しぼり体験きっぷ」に加えて、「有松おさんぽきっぷ」がで、気軽に有松へお出かけ下さるよう企画されました。結果、絞り体験の方は減ったものの、有松天満社秋季大祭や晩秋の有松を楽しむ会に多くの方が名鉄を利用して参加されました。特に外国人の方を多く見かけたキャンペーン期間でした。

期間中大忙しの観光案内所を訪ねました。その日は雨。担当の伊藤多香子さんに様子を伺いました。「人通りの絶えた東海道でしたが、講演会を終えたお客さんが案内所に流れ込み、急に活気づきました。大声でおしゃべりする人やお土産を選ぶ人など、目の回る忙しさでした。午前中の担当者は、絞り体験予約の連絡が殺到して忙しかったと言っていました」と。また、別の日に訪れると、職人が絞り染めしたままの商品を手にとっているお客さんがいました。「自分で糸を解くと楽しいですよ。いろいろな図柄が現れますので」と担当の人の声。運営しているNPO法人コンソーシアム有松の商品（手ぬぐい・スカーフ・Tシャツなど）が所狭しと並べられていました。

日本遺産のまち
有松おさんぽきっぷ

■期間／10月1日(火)～11月10日(日)

有松駅までの名鉄電車往復 割引 + 有松・鳴海絞会館展示室 入場券・お土産 (有松絞りガーゼハンカチ) + 有松の指定 店舗・サービスで 使えるクーポン券

主な駅からの 発売金額(大人おひとり様)	名鉄名古屋…1,150円 金 山…1,040円	名鉄岐阜・犬山…1,960円 豊 橋…2,210円
----------------------	----------------------------	------------------------------

クーポン券が 使える店舗の例

16のお土産店と 17のサービス店

※詳しくは「秋の有松キャンペーン」集まりーフレットをご覧ください。

有松しぼり体験きっぷ

■期間／10月1日(火)～11月10日(日)

有松駅までの名鉄電車往復 割引 + 有松しぼり体験券

主な駅からの 発売金額(大人おひとり様)	名鉄名古屋…3,250円 金 山…3,140円	名鉄岐阜・犬山…4,060円 豊 橋…4,310円
----------------------	----------------------------	------------------------------

好きな絞り技法が選べる 有松しぼり体験券

- 事前に体験したい技法・製品をリーフレットから選ぶ。
- 体験開始1時間前までに有松観光案内所で受付。
- 体験時間の10分前までに、受付時の指定場所へお越しください。

■体験開始時間／11:00～、13:00～、15:00～



「歴史的資産を活かしたまちづくりの勉強会・講演会」開催(10月30日)

愛知県都市基盤部主催で開催されました。参加者は7市の活動団体とその行政担当者でした。名古屋市歴まち室から「有松町並み保存の取り組み」について説明があり、有松まちづくりの会の竹田会長から「中舛竹田家取り壊し案件を河村市長の協力で乗り切り重伝建選定につながった」と裏話を話され、同会の山田事業部長から重伝建及び日本遺産のまち有松の今後のまちづくりについての話がありました。



午後から、「東海道は五十七次だ」と主張される志田威氏（東海道町民生活歴史館館長）の講演を聞きました。「徳川家康は豊臣家を滅亡(1615年)させた翌年、大津宿から髭茶屋追分で大坂に至る東海道の延長を命じ、その途中4駅を設けた。これで東海道は五十七次となった。浮世絵等で五十三次が呼称され、これが一般的に言われるようになり、大変残念に思っている」と。



その後、3グループに分かれあないびとの案内で服部家・竹田家・岡家、そして山車会館を見学しました。早恒染色では雪花紋りに取り組み、染め体験も行いました。お好みの配色で染色していました。できあがったハンカチを見ながら話が弾んでいました。歴史的な町並みだけでなく、今も息づく絞りのまちを感じていただけたようです。

「名古屋タイムスリップ街歩き大合戦」開かれる（11月3日）

名古屋城から有松・桶狭間の魅力あるスポットを巡り、観光も楽しめるスポーツ大会がロゲイニング方式で行われました。ロゲイニングとは、配布された地図をもとに、チェックポイントをチームでまわり、得られた点数を競うものです。有松には絞会館や山与遊歩道・唐子車山車庫など9か所にチェックポイントが設けられました。絞会館を訪れた参加チームは、会館前で証拠となる写真を撮り次のポイントに向かって行きました。参加者は472人。



絞会館前

やっとかめ文化祭 まち歩きin有松（11月2日）

今年の有松コースは2時間あないびとの案内で実施。日本遺産に認定されたことを踏まえ、建物の素晴らしさと共に絞り産業に適した造りになっていることが紹介されました。軒が深いのも絞りが日光を嫌うことと関係していることに気づかされました。

また、岡家住宅で紙芝居が披露されました。太平洋戦争末期に有松駅北側に設置された捕虜収容所にまつわる捕虜と町医者との友情物語です。皆さん熱心に聞いてくださいました。参加者17名。



岡家住宅での紙芝居

中濱家住宅公開（11月4日）

国登録有形文化財である中濱家住宅の見学会が行われました。普段入ることのできない倉や庭を所有者の中濱さんが案内されていました。午前の部では30名ほどの方が参加され、紺屋であった建物の豪華さに見入っていました。特に、倉の扉の分厚さや鍵に驚かれていました。また、山与遊歩道北側堀土台の亀甲積みの石垣の立派さにも有松の繁栄ぶりを感じ取っていたようです。



中濱家住宅の裏門

晩秋の有松を楽しむ会（11月9日・10日）

7回目を迎え、更なる盛り上がりを見せていました。今年のメインイベントは有松絞りが施された十二単の着物の着付けショー、棚橋家を会場に行われていました。他に、「いけばな」「きもの」「お茶」などの絞りや伝統文化にちなんだ展示・イベントが数多く行われていました。

心動かされたものに松柏苑軒下に展示された生け花と嵐絞りのコラボ作品があります。日本遺産に認定された「藍染が風にゆれる町有松」にふさわしい作品と感じました。明治期、有松に再び繁栄をもたらした嵐絞り、それを復活させた早川嘉英氏の作品です。令和という新しい時代の幕開けにふさわしい作品ではないでしょうか。



有松コミセンまつり（11月23日24日）

第12回の今年もコミセンの各部屋や有松小学校講堂を会場に行われました。有松あないびとの会も、今年5月に有松が日本遺産に認定されたことを広く知っていただきたいと、展示が行われていました。合わせて、認定以来増え続ける外国人客への取り組みの様子も紹介されていました。説明に耳を傾けてくださる方も少なくなく、有意義な2日間でした。

また、2階ではあないびとの会自作の紙芝居「お灸と指輪」が上演されていました。かつて有松で唯一の医者であった棚橋先生にまつわる内容で、先生の思い出をお話しされる方もみえました。



愛知善意ネットワーク(AGGN)と有松あないびとの会 有松研修 (11月23日)

外国人旅行者の来訪が増えている有松の町並み。外国語での町並み案内に取り組んでいる有松あないびとの会では、11月23日、名古屋城を始め各地で外国語通訳ボランティアとして活動されている愛知善意ネットワークの皆さんと、有松で研修会を行いました。2018年の国際絞り会議の折り、外国人の方に専門用語を上手く伝えられなかったことを教訓にしての研修です。

まず37名のAGGNの皆さんを、あないびとの会国際部のメンバーが町並み案内。英語に日本語を交え、英語が達者な方に表現を確認していただきながらの相互研修です。その後、絞会館にて絞り用語の詳しいことをスズサンの村瀬さんからご指導いただき、英語版の絞りビデオを見ながら和やかに学習しました。今後、英語でのご案内に役立つであろう大変白熱した研修会でした。

岡家住宅 公開好評

6月から、有松あないびとの会の協力で公開されている「名古屋市指定文化財・岡家住宅」は、絞商の豪壮な住宅を体感できるスポットとして、有松を訪れる多くの人々に喜ばれています。

入場者数は6月以来10月までで8529名で、11月の「晩秋の有松を楽しむ会」では2日間で729名の方をお迎えしました。実際に岡家住宅の内部を見学することで、お城のような太い梁や防火に配慮した釜場の壁・高い天井・天窓などを間近に見、絞商のスケールの大きな暮らしを想像することができて興味深いと好評です。



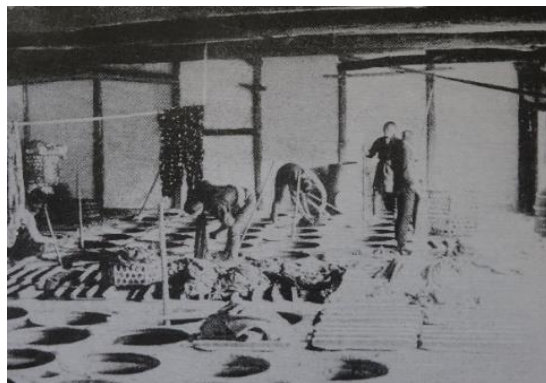
岡家住宅

公開は 毎週土・日曜日 10時30分～15時30分

ただし、12月28日(土)～1月5日(日)は閉館

懐かしの写真

右の写真は、明治43年頃の有松の藍の染め工場です。岡家住宅の作業場であると言われる方もあります。現在は藍甕が掘り出され染め工場としての形態は大きく損なわれていますが、江戸末期から明治期の雰囲気をよく残しています。



催事・行事の予定

- | | | | | |
|-----------|-------|---------------|-------------|-----------|
| 12月01日(日) | 09:00 | 有松東海道青空市 | 有松商工会周り | 青空市運営委員会 |
| 12月07日(土) | 13:00 | 第2回 | 有松日本遺産実行委員会 | 絞会館 |
| 12月08日(日) | 07:30 | かえで道清掃 | 有松まちづくりの会 | |
| 12月12日(木) | 14:00 | 有松・桶狭間観光振興協議会 | 絞会館 | |
| 12月15日(日) | 13:00 | 有松ゼミナール「有松知新」 | コミセン | コンソーシアム有松 |
| 12月16日(月) | 18:00 | 有松町並み相談会 | コミセン | |
| 12月22日(日) | 07:30 | かえで道清掃 | 有松まちづくりの会 | |
| 12月23日(月) | 18:00 | 有松まちづくりの会役員会 | コミセン | |

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索